

6年「人を支える力について考えよう」から 9/10 道徳

この日は、なかよし学級の岡本先生が6年生で授業をしました。「人権」について、子どもたちの普段の暮らしから考えていきました。「ふくし」とは、『ふだんの くらしの しあわせ』（既習）だったことから、支援学級の友だちとのかかわりで、自分またクラスとして、どんなことができているかを具体的に振り返りました。個として集団として、これまで積み上げてきたかかわりがあること、支えができていたことを改めて岡本先生からフィードバックしてもらいました。

その延長上で、社会に出てからも誰かを支える人になるために「人権」の意味について考えました。そのなかで、人権は「守られなければならない」と同時に「守られなければならない」ものであり、自分が守られるだけでなく、他の人の人権を大切に守っていくことが、幸せな社会や安心して暮らせる社会づくりに必要であることを確かめていきました。最後に「セルフチェック」として、自分の間違った行動に気づける、直すことができる、そのための自分で判断する力を身につけていくことについて考えていきました。



～児童の感想から～

- 今日の学習から、楽しく過ごせるクラスが作れていることを知り、これからもそんなクラスを続けていきたいです。セルフチェックをしてみて、クラス全体や自分自身についても振り返ることができました。ふだんのくらしのしあわせが実現できるようなクラスを作れるよう心がけていきたいです。
- 岡本先生の話から、社会の授業で習った人権について、実際の生活で実現させているこのクラスはすごいと思います。もし、嫌な時があった場合、寄り添い、励まし、話してくれる人がいない場合、お互いの意見や思いを尊重する意思がなくなってしまうと思います。だからこそ、人権を大切にする心を広げて生活していきたいと思いました。そして初めて学んだセルフチェックで正しい行動をしたいです。
- 自分の人権を守らなければならないし、他人の人権も守っていかなければならないなと思いました。これからはセルフチェックをして自分をみがいていこうと思いました。
- セルフチェックをして、自分は意外とたくさんできていることがありました。人権は、守られなければならないし、守られなければならないことが大切ということ、そして自分で判断する力も大切になってくることを知りました。福祉は「ふだんのくらしのしあわせ」ということを改めて知りました。
- この学習で、福祉や人権は、障害のある人・高齢者だけではなく、自分たちや先生・大人にも関わっていることが、よく分かりました。そして、セルフチェックをして、『自分で判断する力』を意識したいと思いました。人間として幸せに生きていくためにどう行動すればよいのか考えていきたいと思いました。
- この勉強をして大切だと思ったことはセルフチェックや自分で判断する力が大切だと思いました。友達がまちがったことなどをしていたら、先生や大人に相談したいと思いました。

9月「いじめ防止啓発月間」の取り組みから

児童朝会から 9/9

8月に本校児童2名が参加した加古川市の「心の絆プロジェクト」をうけて、児童朝会で計画委員会がこれからの取り組みについて全校生に伝えました。「いじめの数は年々増加傾向であること」「それぞれに見方や考え方があり、いじめ防止のためには、お互いに理解し合うことが大切であること」などを、グラフや図を使いながら説明しました。そして、児童会の取り組みとして、①いいところみつめアンケート回数をふやしていく、②「ひがしっ子チャレンジ(12月の児童会行事)」を進化させる、の2つを提案しました。



全校朝会から 9/2

いじめ防止啓発月間にちなんだ話をしました。いじめをしない・させない・見逃さないのもと、「～しない」の捉え方だけでなく、(人を大切にするために)「～しよう!」を意識することを伝えました。例えば「なかよく遊ぼう、友達をさそおう、やさしくしよう」など。また、全校的には友だちの名前を「くん・さん・ちゃん」をつけて丁寧に呼ぶことを頑張るひと月にしたいことを話しました。

いじめをしては いけません。
↓
なかよくあそぼう!
ともだちをさそおう!
やさしくしよう!
9月は
とくに
〇〇しよう!

そうぞう力 あいてをおもいやる
(こうしたら きっと……だろう)
↓
じぶんがされていやなことはひとにはしない。
↓
じぶんがされて うれしいことを
ひとにしよう。

全国学力・学習状況調査の生活状況調査から

6年生の児童質問紙の結果から主なものをとりあげます。4段階のうち「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」の肯定的評価については以下の項目が100%でした。

「自分には、よいところがあると思う」	「人が困っているときは、進んで助ける」
「いじめは、どんな理由があってもいけないと思う」	「学校に行くのは楽しい」
「先生は、あなたのよいところを認めてくれると思う」	「友達関係に満足している」
「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある」	
「道徳の授業では、自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」	

- ・自己肯定感が高く、人の役に立つ人間になりたいと将来の夢や希望をもって粘り強く取り組む態度が育ってきています。
- ・学校へ行くのが楽しいと答える児童は多く、良好な友達関係や学校での居場所づくりができているのが伺えます。
- ・引き続き道徳教育、人権教育を充実させ、いじめを許さない醸成づくりに努めていきます。

※詳細は本校 HP「R6 全国学力・学習状況調査のまとめ」をご覧ください。